

村上直次郎 むらかみ ちかじろう 對外交渉史學者、文學博士。慶應四年（二月）四日豊後國玖珠郡生れ、昭和四十一年九月十七日歿（八六一―一九六六）。明治一十八年帝國大學文科大學史學科卒。歐洲留學後、東京外國語學校教授、東京帝大史料編纂官を経て、大正七年東京音楽學校校長、昭和二年臺北帝國大學教授、同人文政學部長を歴任。十五年以上智人學教授（二十一年總長就任）、二十七年教授專任）。帝國學士院會員。

著書に『徳川時代における日歐の關係』（大正十五年九月千葉森と佐倉中學校）、『臺灣文化史説』（幣原坦共著、昭和五年十月（二十六日）臺北・臺灣文化（二百年記念會）、『對外交渉の史的回顧』（昭和十五年十一月（二十八日）格別會事務所「講演集」）、『昆比王山田長政』（昭和十七年四月（二十日）朝日新聞社「朝日新選書」）、『日本と比律賓』（昭和二十年七月（二十日）朝日新聞社「朝日新選書」）等。譯書に『ロシアシロウの書翰』（神谷武夫解説・キリシタン文化研究会編、昭和二十四年五月（二十五日）鯨社「キリスト教傳來四百年記念」）、『長崎オランダ商館の日記』（第一輯・昭和二十一年一月十日、第二輯・三十二年一月（二十日）岩波書店）等。

